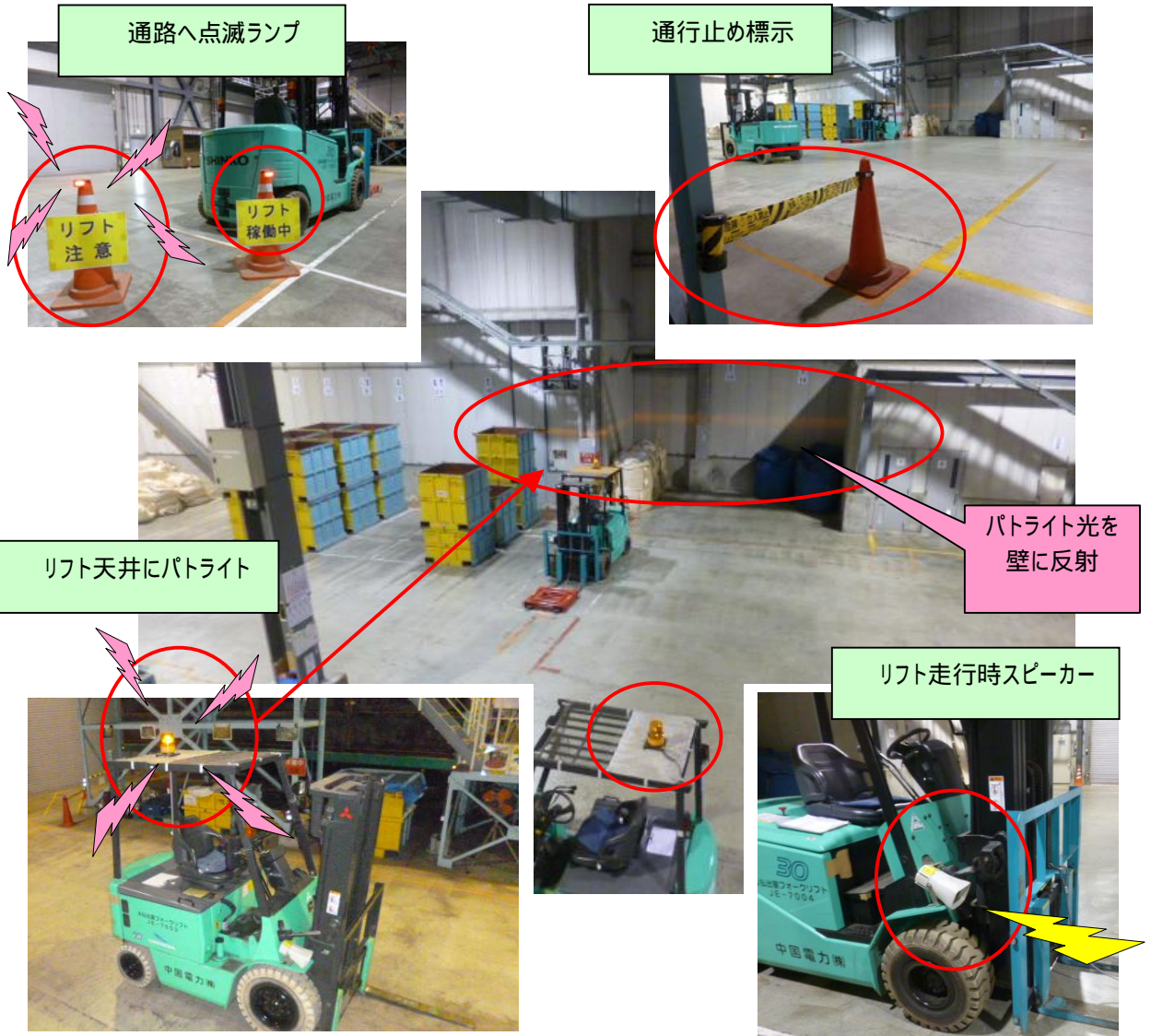


【タイトル】 フォークリフト稼働状況の見える化

改善後



説明: 担当員 14 名 (内女性 1 名) で平均年齢が 59 歳と高齢者ばかりの職場で、運動能力、視力、聴力、注意力が劣り、反面思い込みが強い災害リスクの高い職場環境で、フォークリフト稼働時の作業員との接触危険リスクの低減を目的に、注意標示だけでなく、光と音で、より以上に注意喚起を促す対策を実施した。

リフト稼働時は通路にカラーコーンに「稼働中・注意」標示ならびに点滅ライトを設置して、光で通路通行者へ注意喚起する。

リフト稼働中は、現場作業員以外は立入り禁止とし、通路を塞ぐ。

リフト天井に回転灯 (黄パトライト) を設置し、稼働中に回転光を部屋の壁に反射させて、部屋全体にリフト稼働中であることを光で注意喚起する。

スピーカーを取り付けて、前進、後退時にメロディーを変えて、音でリフトの稼働状況を知らせて注意喚起する。

改善前

説明: フォークリフトと作業員ならびに通行人との接触防止対策は特にしていなかった。